

# JARL 香川クラブ報

No. 360 平成20年8月15日



J A 5 Y D E

# 防災協定書調印式

名誉会長 JA5AHM 天野英弘

2008年7月8日13時30分定刻に大西秀人高松市長が調印式場に入室。  
私たちは起立で迎えました。

私の正面席が市長で、石垣佳邦総務部長・篠原也寸志総務部次長の3名が順次席に着き、私たちは、JA5AHM・JH5LYW・JH5EZB・JA5CBFと席に着きました。

さらに市側からは釜野清信危機管理課長、辻本哲彦課長補佐、森本保夫主任、豊島昭人担当係が同席しました。



危機管理課長の司会進行で開会。  
JARL香川クラブの4名と市側3名の紹介が肩書き付きで紹介されました。

続いて、課長補佐から「アマチュア無線による災害時の情報伝達に関する協定」の締結について、その経緯と協定の内容の説明があり、調印に移りました。

高松市代表である市長とJARL香川クラブ代表である私が、協定書2通にそれぞれ署名捺印をし、協定が成立しました。

市長と私たち4人が握手、市長から期待とお礼の挨拶があり、私から高

松市への協力と要望などを伝えました。

報道関係者は予想以上に多く、10社ぐらいいが入室しており「最近になく多くの取材陣であった」と市の担当者は満足げでありました。

締結に至るまでの経緯を簡単に説明しますと、10数年前、当時のJARL香川県支部長越智氏(JA5IQD)から「高松市が非常通信の協定を結びたいようだ」と相談されましたが、担当部局もわからないし、高松市から直接アクションもなく5年以上経過しました。

2005年10月25日高松北警察署から「非常通信の協定を結びたい」と私宅へ来られました。

私としては、「高松市からそのような話があったが、全く進展していない」ことや「高松市と協定



を締結した場合、警察と同じような協定を結ぶと、力が分散して十分な活動ができなくなると  
思う」などと伝えました。

「警察としては、市と JARL 香川クラブとの間で協定が成立するのであれば、市との連絡体制を  
作るの、高松市と話し合ってみる」と言う事になりました。

その後、何度か警察と話し合いをおこないましたが、高松市からは依然として接触がなく、年 1  
回の防災訓練に参加する程度の関係が続きました。

2007 年 5 月 28 日、高松市防災対策室長高島眞治氏と豊島氏が我が家に訪ねてこられ、話し  
合いが再開されました。

2008 年 2 月 27 日、高島  
室長から「5 月には協定を締  
結したい」との話があり、協  
定の内容についての協議を  
何度か持ちました。

その後、防災対策室が組織  
変更により危機管理課とな  
り高島室長は転出し、新しい  
人事で交渉する事になりま  
したが、危機管理課からは何  
の連絡もなく、こちらからも  
あえて問い合わせや請求も  
せず成り行きに任せていま  
した。



ところが、4 月 11 日にな  
り辻本課長補佐と豊島氏が突然訪ねて来られ、「7 月に締結したい。その日が駄目であれば、市  
長の予定が詰まっているため 11 月になる。」とのことでした。

協定の内容についてはクラブミーティングで原文をお知らせしましたが、具体的な日時は未  
定でした。

その後、「7 月 8 日 13 時 30 分から調印したいので、出席者名簿を早急に提出してください。直  
前の出席者変更もかまいません。」との要望が高松市からあり、私の一存で通知しました。

以上が、協定調印までの大まかな経緯で、協定を締結するに至りましたが、私たちの出番が  
あるということは高松市が大変な状態に陥っていると言う事です。

私たちの出番がないことを望んでいますが、備えは常に必要です。

クラブの皆さんも「趣旨を理解し、非常通信に協力すると言う心構えを常に持って欲しい」  
と思っていますし、市に対しては、防災訓練などに協力するとともに私たちの要望も出してい  
きたいと思っています。

この協定を結ぶにあたり、高松市では近隣の市町をはじめ、府県、警察署などの調査を行な  
い、JARL からも各種の資料をダウンロードし、5cm 以上あろうかと言う分厚いファイルを  
作っていました。

その結果、JARL 香川クラブの伝統や実績をもとに信頼できると判断し、たった 70 余名の小さい  
民間団体、それも趣味の組織を相手に市長が出席して調印式を開催してくれたことを誇りに思  
って良いのではないかと思います。

JARL 香川クラブ結成 60 周年記念の年に、新たに「防災協定締結」と言う使命と誇りが伝統と歴史  
に加わったと思います。

# クラブミーティングの報告

DE JA5TFJ

5月の定例ミーティングで決定しました「JARL香川クラブ創立60周年記念行事」の、記念局の開設、運用等についての詳細検討を主題とする臨時のクラブミーティングが7月1日(火)19時30分から、成合町「喫茶 不二の屋」にて開催されました。会は、三木副会長の司会により、三好会長の挨拶があり、稲毛本部長より連盟理事会にて承認された旨の連絡があったこと、また運用期間を当初計画から1ヵ月延ばし、9月1日から10月31日の2ヵ月間としたこと、等の話があり、本日詳細について協議致したい。続いて、三木副会長より、先日の県支部役員会及びクラブ代表者会議の様相について報告があった。その後、天野名誉会長から「高松市と災害時の情報伝達に関する協定について」報告があり実り多いミーティングを21時過ぎに終了散会した。(協議内容は下記のとおり)

## 記

### 1 記念局関係

- ・実行委員長 会長 JH5LYW、ログ管理責任者 副会長 JH5EZB
- ・公開運用予定日、管理責任者(原則毎日:10:00~18:00とする)
  - 9/7(日) JH5LYW・JH5EZB
  - 9/21(日) JA5TFJ・JE5PBO
  - 10/5(日) JH5LYW・JH5PMZ
  - 10/19(日) JH5EZB・JI5XTP
- ・運用場所 JA5YDE常置場所(会長別宅)
- ・QSLカード クラブ旗を入れて、上に記念局8J5KA6O、下に解説事項  
デザインはJE5PBOさんに依頼  
見本が出来しだい連盟に提出の上、承認を受ける。  
印刷枚数等については、クラブ用QSLも含めて追って決める。
- ・連盟会長の祝電を要請する。開局式には稲毛本部長、森国県支部長のご臨席を要望
- ・11月の反省検討、打ち上げ会については、追って協議する。

### 2 高松市との協定関係

「アマチュア無線による災害時の情報伝達に関する協定(案)」について、過日天野名誉会長が高松市総務部危機管理課と打合せの結果、一応ボランティア活動として、情報伝達に関する協定を結ぶこととした。

- ・市の防災行政無線、電話回線その他の手段による通信連絡が困難又は不可能な場合において情報の収集、伝達について協力要請がある。
- ・要請手続きは市危機管理課が担当する。
- ・クラブの代表者は毎年1回会員の名簿を提出
- ・受皿としてこの協定に基づくアマチュア無線局を開設する場合、市の施設を提供の外必要な便宜を図る。
- ・会員の補償については消防団員の補償を準用する。

- 調印式 7月8日(火)13:30~ 市危機管理課(3F)  
出席者 天野英弘、三好伸幸、三木博之の予定

### <参加者>

JA5AHM, JA5TFJ, JH5EZB, JH5LYW, JH5PMZ, JH5WMN, JE5PBO, JF5ICA, JI5XTP

# フィールドミーティングの報告

DE J I 5 X T P

例年になく参加者の多いフィールドミーティング。暑さなんか何処吹く風、用意した肉も野菜もビールもスッカラン。途中で買い出しに出る始末。これも若き乙女の力かな？

7月26日(土)、18:00より恒例のフィールドミーティング(焼肉パーティー)を三谷町「三好別宅」にて開催をした。日中はうだるような暑さだったが、開催時にはさわやかな風がふき、用意をした扇風機も隅っこで寂しそうであった。

開催に先立ち三好会長より来たる9月から2ヶ月間の予定で運用するクラブ記念局のQSLカードのお披露目があり、クラブ会員達が知恵を出し合った素晴らしいQSLカードの試作品が出来上がっていた。また、天野名誉会長より高松市と締結をした防災協定の報告があり、防災時に香川クラブが果たす役割の重要性を感じた。



待ちに待った焼肉パーティーがJ A 5 U Y 長尾OMの乾杯の音頭で始まった。今日の主役はなんと言っても、こんなに大勢を集めた「れいこちゃん」。聞くところによるとアマチュア無線に興味をもっている女史でJ R 5 G L O 谷本OMの知り合いらしい。例年のごとく焼肉奉行のJ F 5 I C A 向井OMが上肉の旨いところを女史に献上をしたあと、会員達が一斉に肉の前に集まり、忙しく箸を動かしていた。パーティー半ばにJ G 5 O B X 丸山OMがなにやら大きい荷物を担いでやってきた。「差し入れかも?」。テーブルの上に荷物をほどこ

始めると出てきたのは差し入れではなく、いくつものパーツらしき物。これは香川ARDFメンバーが丸山OMに製作を依頼していた「スタートチャイム」だ。電源を入れると、丸山OMの声で「スタート5分前」とアナウンスをした。スタートチャイムとは本来ならARDF審判員が競技者を5分前からカウントしてスタートさせるのだがスタートチャイムは無人で何組もの競技者を正確にスタートさせる機器であり、電波時計を搭載しているので時間も正確である。その試作品が丸山OMの技術力によって出来上がったのである。常々技術力が無いと自覚している私には丸山OMがまぶしく映った。

さて、焼肉に目を向けると向井OMが網から鉄板に替えて途中で買って来たそばを調理し皆に振るまつており、毎度のパターン焼きそばでパーティーはお開きとなった。

無線好きはクラブシャックに移動して交信を始めるが眠気に勝てず、記憶がとおのいた。

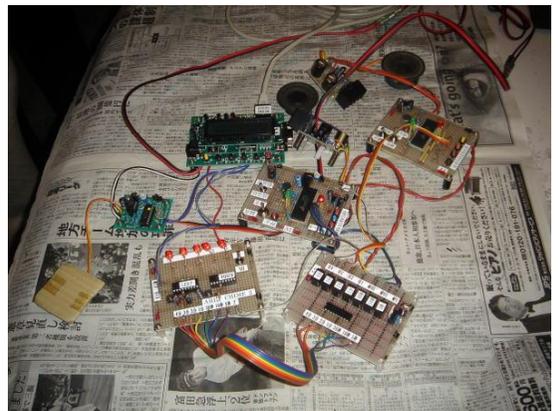
気がつくとシャックには4、5人が雑魚寝をしており、広場では自前のテントを張っていたJ F 5 M E D 山田OMが中で寝ていた。

運用局数 記念局 局、7MHz CW 30局

(今回差し入れをしてくださったゲストさん、会員さん有り難うございました)

<参加者> JA5UY / JA5AHM / JA5TFJ / JH5EZB / JH5LYW / JH5PMZ / JR5GLO / JE5PBO / JF5ICA

JF5MED / JG5OBX JG5WTP / JI5SAO / JI5XTP (ゲスト) JA5UVT / JJ5CAE / れいこちゃん



## 記念局QSLカード

会長が大まかな図案を作成しており、その後クラブ員が知恵を出し合っアレンジしたクラブ結成 60 周年記念局用 QSL カード (ラストレターはゼロではなくオー)



## 製作技術講習会のご案内

(香川県支部ホームページより転記)

今年の製作技術講習会はアンテナインピーダンスメータです。  
皆様の参加をお待ちしています。

### 記

- 1.日 時 平成 20 年 9 月 14 日 (日) 9 時半～17 時
- 2.場 所 丸亀市栗熊研修センター  
(元綾歌町農村環境改善センター)  
(元綾歌町役場敷地内)
- 3.参加費 ¥3,000 円 (当日集金)
- 4.準備物 ハンダごて (15～30W、こて台、ニッパー、ラジオペンチ等を持参下さい)
- 5.その他 コネクタは M 型、1.9～144Mhz  
(BNC 希望の方はその旨 QSP 下さい)
- 6.申 込 往復葉書または E-mail で  
〒769-

方 製作講習会係

### E-mail

- 7.締 切 平成 20 年 9 月 5 日(金)必着
- 8.その他 定員 (20 名) になりしだい締め切りますので、お早めにお申し込みください。

## コンテスト参加報告

下記のとおり「JA5YDE/5」でコンテストに参加しました。

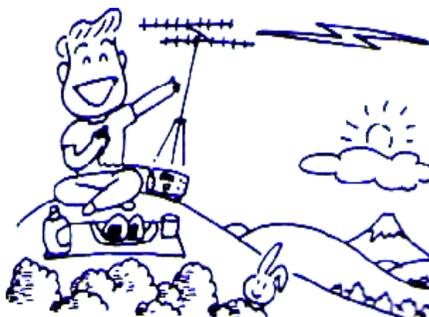
### JARL主催コンテスト

JARL主催コンテストその他クラブ  
対抗部門があるコンテストに参加した  
時には、サマリーシートの登録クラブ  
対抗欄に

登録クラブ 番号	36-1-1
登録クラブ 名称	JARL香川クラブ

と記入するようにお願いします。

個人のアクティビティー向上とクラ  
ブの活性化のため、どしどしコンテス  
トに参加しましょう。



### オールJA5コンテスト(7/19~20)

	交信局数	マルチ
3.5MHz	73局	29
7MHz	168局	40
1.4MHz	14局	8
2.1MHz	32局	17
合計	287局	94

OP. JI5XTP

コンテストは短時間で何局と交信が出来るかを競います。私は受信能力が劣っていますので（よく言われる耳が悪い）、PHONEだと相手の発音や電波の浮き沈みで上手くコールサインをとることが出来ず、電信だと短点と長音だけなので、だいたい聞き取ることが出来ます。そんなわけで最近は電信での交信が多くなっています。コンテストの醍醐味は途切れることなく呼ばれ、時折パイルアップにも遭遇することです。その時のどきどき感がたまりませんがトイレに行けないつらさも味わいます。皆さん、楽しいコンテストに参加していますか？

JI5XTP



### JA5YDEの運用者を 募集しています

コンテスト、JCC/JCGの移動運用、クラブ  
結成50周年記念アワードのサービス運用な  
どで、JA5YDEをPRして行きたいと思  
います。クラブ員なら誰でも運用でき  
ます。運用希望者は局免許状・ログ帳・  
Rigなどが必要ですので JH5LYWにお  
問い合わせ下さい。

## クラブ報の原稿大募集！！

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などジャンルは問いません。

原稿はメール、郵送、引取他、ご一報を頂ければご連絡をいたします。

連絡先：事務局及びE-mail

## ★★★ 新入会員募集中 ★★★

JARL香川クラブでは新会員を募集しています。

今年はクラブ結成60年目(1948年10月結成)になります。

そこで、更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。  
クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新入会員の募集  
にご協力ください。

JARL 香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしていますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都度お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

**前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。  
また、平成19年度会費につきましても早急に納入をお願いします。**

## JARL香川クラブ報

発行責任者	JH5LYW	三好	伸幸
編集者	JA5TFJ	横田	寿夫
	JH5WMN	山口	博司
	JI5XTP	坂内	信洋